

## 「論述式入試に向けての思考力・表現力の育成」のために

—本年度の大学入試・高校入試・私立中入試・公立中高一貫校入試を振り返って—

開倫塾

塾長 林明夫

**Q：足利市の山林火災は大変でしたね。**

A：(1)はい。2021年2月21日に足利市の両崖山近くで発生した山林火災は約10日間続きました。

(2)両崖山の真下には栃木県立足利高校や足利市立第二中学校、また、1キロ圏内には足利市民会館や栃木県立足利女子高校、史跡の足利学校などがあり、大火災になる可能性もありました。また、両崖山の西側には足利市立第一中学校や栃木県立足利工業高校などがあり、大きな被害が生じる可能性もありました。

(3)地元の消防のみならず、栃木県・群馬県・茨城県・東京都などの消防の皆様、また、自衛隊の皆様の懸命の消火作業によって、10日後には無事鎮火しました。皆様のご理解・ご協力・ご支援に、地元の一市民として心から感謝申し上げます。

**Q：大変だったことは何ですか。**

A：(1)一番大変だったことは、地元の市民が火災の恐怖に怯えたことです。300名以上の方が避難をし、また、小学校・中学校・高校は休校になり大変な思いをしました。

(2)もう一つ大変だったことは、山林火災に際して自衛隊や消防のヘリコプターが8機が渡良瀬川から水を汲み上げて空から懸命の消火作業をしてくださいましたが、その様子を野次馬の人が見学に訪れたことです。消火活動を妨害し、交通渋滞にもなり大きな被害を及ぼしました。このような場合には、地元の混乱を避けるために、火事場（野次馬）見学はできるだけ避けるべきだと痛感いたしました。

(3)皆様をお願いしたいことがあります。ハイキングに際しては、山火事の原因となるのでタバコは絶対に吸わないこと、また、山の中では絶対に火を起こさないことをお願いしたいと思います。

**Q：ところで、今年の大学共通テスト、大学独自試験、都道府県立高校の入学試験、私立高校入試、私立中入試、公立中高一貫校入試の特徴は何だとお考えですか。**

A：(1)大学共通テストの分量を見ますと、英語をはじめとして入試問題の文字数が大幅に増加したことです。また、数学や理科、社会など単なる知識を問う問題だけでなく、問題文の文脈を正確に読み解く問題が数多く出題されたことです。

(2)これは大学入試だけでなく、高校入試、私立中入試、公立中高一貫校入試にも共通して言えることです。

(3)新学習指導要領に沿った出題だったと思われます。これは「論述式入試に対応する思考力・表現力を育成する」という世界的な教育の潮流に沿うものと高く評価いたします。

**Q：「論述式入試に対応する思考力・表現力を育成する」とは何ですか。**

A：(1)フランス国内で 200 年にわたって行われてきたバカロレア(大学入学資格試験、高校卒業認定試験)が世界の多くの国で評価され、世界の教育の潮流になりつつあるということです。

(2)フランス国内のバカロレアの試験問題は、高校の先生方の代表が作成します(作問は、高校の先生方)。試験会場は通っている高校です。試験の採点も通っている高等学校の先生方が行います。合格率は 8 割から 9 割でこの試験に合格するとフランスでは、生徒が選んだ大学に進学することができます。ただし、大学の卒業は厳格を極めています(大学は厳格な評価を行います)。

(3)従って、高校の先生方は、生徒が必死でバカロレアで合格点が取れるように、1 年生から 3 年生まで「論述式試験に向けての思考力・表現力の育成」に励みます。

(4)このような「論述式入試に向けての思考力・表現力の育成」が各国の教育に大きな影響を及ぼし、OECD の PISA 調査にも大きな影響を及ぼしています。

(5)日本の新学習指導要領にも大きな影響を及ぼし、大学入試、高校入試、私立中入試、公立中高一貫校入試にも大きな影響を及ぼしています。

(6)さらに、大学・高校・中学校・小学校の教育課程にも大きな影響を及ぼしていると言えます。

**Q：これからは「論述式入試に向けての思考力・表現力を育成する」時代に入ると言えるのですか。**

A：その通りです。ですから、学習塾・予備校・私立学校でも「論述式入試に向けての思考力・表現力の育成」に本格的に舵を切らなければならないと確信いたします。

**Q：「論述式入試に向けての思考力・表現力を育成する」ためには、どのような教育を行えばよいのですか。**

A：(1)小学校・中学校・高校で学ぶすべての教科を一切の手抜きなしに丁寧に学ぶ以外にありません。数学や理科、社会の問題を解くにも単なる知識だけでなく、様々な文章や情報を読み解くことが求められますので、すべての教科の内容を背景に問題を解くことが求められます。

(2)表現力を養うためには、普段から読書に励み、多くの優れた文章に接することが求められます。多くの優れた文章の中には、詩や短歌・俳句はもちろん日本や世界の古典も含まれることは当然です。

(3)美術や音楽などの芸術に親しむために、美術館や博物館を訪れ、コンサートや展覧会に参加することも不可欠です。また、優れた演劇や映画に親しみ、どのようなものが素晴らしい表現かを知ることが大切です。情報処理も大切です。

**Q：「論述式入試に向けての思考力・表現力を育成する」ためには、ありとあらゆる教育的な取り組みが必要なのですね。**

A：(1)その通りです。新聞を毎日30分以上読み、自分の興味・関心のある記事は書き写したり、切り取ってノートに貼り付けることが大切です。また、その横に自分の意見を書き記すことも大切です。

(2)同時に、先生や友達に自分の関心のある新聞記事について話をしたり、質疑応答をすることもとても大切です。

(3)本を読んでいて、これぞという文章を「書き抜き読書ノート」に書き写すことは、「読書人」の多くが行っていることです。

(4)「書き抜き読書ノート」に書き写したことを折に触れて読み返し、自分のものにするのが、「思考力・表現力を育成する」上で大いに役立ちます。

**Q：古典を読むことも「思考力・表現力を育成する」上で役立つのですか。**

A：(1)教科書に紹介されているような「古典」を腰を据えてじっくり読むことは超おすすめです。

(2)ファラデーの「ろうそくの科学」やシュリーマンの「古代への情熱」、内村鑑三の「後世への最大遺物 デンマーク国の話」や「代表的日本人」は、古典としてぜひお読みいただきたい本です。

(3)自叙伝としては福沢諭吉の「福翁自伝」は読みやすく、「学問のすゝめ」や「文明論之概略」などと併せて読めば多くのことを学ぶことができます。

**Q：学習塾・予備校・私立学校の幹部の先生方にお伝えしたいことは何ですか。**

A：(1)大学入試、高校入試、私立中入試、公立中高一貫校入試の内容のみならず、大学教育・高校教育・中学校教育・小学校教育の「教育課程、カリキュラム」の内容が、「論述式入試に向けた思考力・表現力の育成」に大きく転換していることを認識し、この潮流に対応した教育を行うべきです。

(2)そのためには、新聞の活用・読書の活用が欠かせません。NIE(教育に新聞を)や指定図書を活用した読書教育、学校図書館や公共図書館の活用方法の指導を積極的に行うべきです。

(3)美術館や博物館、コンサートホールなどの「社会教育施設」の活用も年間計画の中に入れ、積極的に指導すべきです。

(4)「論述式試験に向けての思考力・表現力の育成」という共通テーマに向けて、自らが所属する組織を挙げての取り組みを期待いたします。

**Q：最後に一言どうぞ。**

A：今月皆様にお勧めする本はただ1冊です。以前にもご紹介した、編集 細尾萌子／夏目達也／大場淳「フランスのバカロレアにみる論述型大学入試に向けた思考力・表現力の育成」です。ぜひ最後まで読み切り、大いに参考にいたしましょう。

2021年3月10日